

第 176 回 BA エグゼクティブサロン概要 (5/20)

テーマ：「トランプショックと中国経済の行方」

講演者：瀬口 清之（せぐち きよゆき）氏
キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹

卓話概要：

トランプ政権誕生後、数々の衝撃的な政策が発表されていますが、一般的な日本のメディア報道によって伝えられているのはその一部に過ぎません。

この事態が政治経済社会に与える影響を認識できている米国の有識者や専門家は、この状況を極めて深刻に受け止めており、民主主義および世界秩序を破壊していると捉えています。その認識の内容を伝えるとともに、米国の最大のターゲットになっている中国経済への影響、その見通し等について説明します。



略歴：

1982年3月東京大学経済学部卒業、同年4月日本銀行入行。91年4月在中国日本国大使館経済部書記官。04年9月米国ランド研究所にて International Visiting Fellow。06年3月日本銀行北京事務所長。09年3月日本銀行退職、同年4月現職、杉並師範館塾長補佐（11年3月閉塾）。10年11月アジアブリッジ（株）〈主に日本企業の中国ビジネス支援〉を設立。16年4月～17年6月国連 UNOPS 中国・アジア太平洋食品安全プロジェクト・シニアアドバイザー、19年10月日本アジア共同体文化協力機構理事（兼任）、22年5月大学院大学至善館特任教授（兼任）
著書に「日本人が中国を嫌いになれないこれだけの理由」（日経 BP 社 2014年）ほか。メディア関連では、NHK 日曜討論、NHK 視点・論点、NHK ワールド、テレビ朝日「朝まで生テレビ」、BS 朝日「激論！クロスファイア」、BS フジ「プライムニュース」、BS11「報道ライブ インサイド OUT」、BS-TBS「報道1930」、BS テレビ東京「日経プラス9」等への出演、日経 BP、JB プレス、毎日新聞、日本経済新聞、新華社、環球時報、人民中国、Financial Times、The Economist 等での寄稿・記事掲載。日米中各国の大学・シンクタンク、日本の中央省庁、企業・経済団体等での講演は年間数十回。